

大津市長記者会見

令和8年7月23日（木）
11：00～

全国第2位！



プラネタリウムの

リニューアル

全国第2位！大津市科学館プラネタリウムのリニューアル

大津市科学館のプラネタリウムについて

・滋賀県唯一の公設科学館とプラネタリウム

・観覧者数が**4年連続全国第2位！**（2022年～2025年）

順位	施設名	観覧者数	稼働率	座席数
1	高知みらい科学館	3.7万人	37%	82席
2	大津市科学館	3.5万人	57%	95席
3	茨木市文化・子育て複合施設 おにクルきたしんプラネタリウム	3.4万人	69%	56席
3	富士市道の駅 富士川楽座	3.4万人	16%	72席
5	厚木市子ども科学館	2.9万人	33%	90席

※ 日本プラネタリウム協議会が実施した「プラネタリウム基礎調査 2025」において、座席数（規模）99 席までの「小規模館」102施設中【参照：JPA 日本プラネタリウム協議会ホームページ】

全国第2位！大津市科学館プラネタリウムのリニューアル

現状とリニューアル

■現状

- ・前回(平成24年)の機器等のリニューアルから**14年**が経過
- ・老朽化に伴う不具合への対応増
- ・光源ランプの**生産終了**により、今後の交換部品が無くなる
 - ⇒ 投影機器やドームスクリーンなどの**リニューアル**を決定

■リニューアル概要

- ・最新デジタル投影機器の導入、光学式投影機の併用
 - **星空表現**の更なる向上や、プラネタリウムシステム全体の**安定性**の向上
- ・ドームスクリーンの張替
 - 映し出される**星の姿や映像の質**の向上
- ・音響設備の更新
 - **立体感と臨場感**が高いクリアな音質 など

全国第2位！大津市科学館プラネタリウムのリニューアル

プロポーザル実施結果

■選定事業者

株式会社五藤光学研究所

■選定事業者の実績

高知みらい科学館
京都市青少年科学センター
八戸市視聴覚センター・児童科学館
DENZAI環境科学館(室蘭市)など

■事業費

309,181,400円

→ 今後、議会の議決を経て、契約締結となります。



更新後イメージ

全国第2位！大津市科学館プラネタリウムのリニューアル

スケジュール

■リニューアル前最終営業日

10月4日(日)

■リニューアル後オープン予定時期

2027年春頃

『広報おおつ』創刊1500号記念

Otsu City Public Relations

3カ月連続プロジェクト

『広報 おおつ』創刊1500号記念 3カ月連続プロジェクト

Otsu City Public Relations

プロジェクトについて

■主旨

- ・毎月発行する「広報おおつ」は、本年10月号で**創刊1500号**
- ・この節目を記念し、**市民参加型**の「3カ月連続プロジェクト」を実施
- ・紙面・WEB・リアルイベントを3号連続で連動させるのは、創刊以来**76年で初の試み**

■目的

- ・『夏休みの親子向け環境ミッション』、『びわ湖大津観光大使による聖地巡礼とZINE制作』、
『創刊1500号記念特集』を3カ月にわたり展開し、市民が広報おおつを通して
「まちを巡り・学ぶ・参加する」きっかけを創出
- ・**広報紙、WEB、ソーシャルメディアを組み合わせ**た、今後のより効果的な情報発信の検討
 - ➡ プロジェクトの集大成として、10月3日(土)開催の『湖都の葉マルシェ』では、
広報課ブースを出展。企画に関する展示や、参加型企画を実施

『広報 おおつ』創刊1500号記念 3カ月連続プロジェクト

Otsu City Public Relations

8月号(発行:令和8年7月21日)

■特集

「2026夏を攻略せよ！我が家のクール大作戦」

■概要

- ・夏休みにあわせ、**親子**で楽しめる**ミッション形式**の企画
- ・市内の図書館や歴史博物館を巡りながら、環境や地域について学ぶもの
- ・広報おおつWEBサイトや公共施設で配布する

「**ミッションノート**」を完成し、

『湖都の葉マルシェ』に持参した子どもには
会場で限定ステッカーをプレゼント



特集紙面



ミッションノート

『広報 おおつ』創刊1500号記念 3カ月連続プロジェクト

Otsu City Public Relations

9月号(発行:令和8年8月19日)

■特集

「大使は聖地を“撮り”にいく～好きを集めるおおつの歩き方～(仮題)」

■概要

- ・令和8年度びわ湖大津観光大使の山田 美貴さんと岡本 成葉さんが、
若者に人気の「**聖地巡礼**」と「**ZINE(自主制作冊子)作り**」に挑戦
- ・『成瀬』シリーズゆかりのスポットが点在する膳所エリアなど、市内の小説や映画、ドラマの舞台を巡り、自ら撮影した写真を使ってZINEを作成
- ・完成したZINEは『湖都の葉マルシェ』の**会場で展示**するほか、制作過程のショート動画を広報おおつWEBサイトで公開予定



聖地巡礼の様子

『広報 おおつ』創刊1500号記念 3カ月連続プロジェクト

Otsu City Public Relations

10月号(発行:令和8年9月15日)

■テーマ

創刊1500号記念号

■概要

- ・昭和25年の創刊以来、76年間の歩みを、**当時の紙面とともに振り返る**メモリアル号
- ・広報おおつが記録してきた市民の暮らしや時代の変化を紹介するとともに、
「あなたが生まれた年の広報おおつ」を探せる企画も展開
- ・家族や友達と懐かしい大津の思い出を
語り合うきっかけづくりに



歴代の広報おおつの表紙

『広報 おおつ』創刊1500号記念 3カ月連続プロジェクト

Otsu City Public Relations

クライマックス

■10月3日(土)湖都の葉マルシェで

- ・3つの企画がリアルイベントで一つになります。
- ・当日は会場内「広報課ブース」で、プロジェクトの集大成を紹介します。

■広報課ブースの内容

- ・ミッションノート達成者への特典ステッカーの配布
 - ・びわ湖大津観光大使による自作「ZINE」の展示
 - ・あなたが生まれた年の広報おおつに会える！バックナンバー(表紙)展示
 - ・来場者参加型企画(シールラリー)
- ※詳細は、広報おおつ10月号で発表予定

